

平成29年度第2回長崎県後期高齢者医療広域連合懇話会 開催結果概要

- 1 開催日時 平成30年12月5日（火）午後2時00分から午後4時20分まで
- 2 開催場所 長崎市栄町4番9号 長崎県市町村会館 4階 第2会議室
- 3 出席委員 10名
山崎会長、小田口副会長、徳永委員、白川委員、知念委員、立石委員
高原委員、渋谷委員、佐田委員、井手委員
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議の概要

（1）議題

第1号 平成30・31年度 保険料率改正について

第2号 第2期データヘルス計画の策定について

（2）委員からの主な意見

第2号 第2期データヘルス計画の策定について

- ① 前期高齢者の特定健診受診率と後期高齢者の健康診査受診率に開きがあるが、その要因は何か。
- ② 健診結果説明は、健康維持のために必要だと考える。
- ③ 健診の受診勧奨を行う推進員が少ない市町では、一般の方から推薦を受けて事業を進めた方がよいのではないか。
- ④ ジェネリック医薬品について県全体の使用割合より後期高齢者の使用割合の方が高いとの感覚だったが、後期高齢者の使用割合が少ないのはなぜかと疑問に思う。
- ⑤ ジェネリック医薬品使用の効果額は、抗がん剤など的高額な新薬が使用されると打ち消されてしまう。
- ⑥ 医薬品を医療外目的に使用するなど、必要以上に多量に処方してもらっていることが問題となっている。
- ⑦ ジェネリック医薬品の使用率や薬価を決める厚労省が、薬価を安くするようにとすることにも問題がある。
- ⑧ 国は事業効果を指数化して奨励金を出すとしているようだが、地域に対して奨励金を出すことで事業が進展することは期待できないのか。
- ⑨ 五島（離島）でジェネリックの利用が進まないのは供給が追いついてないという理由もある。
- ⑩ 先発薬品の薬価を下げれば、現場の混乱や患者の勘違いも生じないと思う。

- ⑪ 歯科医療費は前期高齢者で全国平均を超えているが、後期高齢者では下回っているのは、歯の数が減少しているからである。
- ⑫ 肺炎とお口の状態の関連性を裏付ける分析（レセプト確認などで）を行ってほしい。
- ⑬ 疾病の分類は出典により異なっている場合があるので、明確な説明が必要である。
- ⑭ 訪問指導事業の専門業者に委託しているが、服薬等について指導能力のある事業者なのか。
- ⑮ 訪問指導の結果のうち、残薬に関する情報は、主治医やかかりつけ薬局に連絡していただきたい。
- ⑯ 健康寿命とはこういった状態をさすのかを、定義としてきちんと書いてほしい。